筑波サーキットファーストエイド&レスキュー講習会

実 施 概 要

■ 名称 2022 年筑波サーキットファーストエイド&レスキュー講習会

■ 開催日 2022 年 1 月 29 日(土)·2 月 21 日(月)·23 日(水祝)

■ 主催 筑波サーキット・筑波サーキットオフィシャルクラブ(TCOC)

■ 開催時間 8:30~16:30(8:00 準備開始)

■ 開催場所 筑波サーキット サーキットホール講習室

■ 開催目的 オフィシャル活動において、緊急時の対応と応急手当の基本動作習得

■ 実施内容 【講師】

モータースポーツ・ライフセービング機構(L. S. O)

【講習概要】

- ・ 当初の観察と接触(損傷のメカニズム・二次災害・感染症防止)
- ・ 生の微候の調査 (反応・呼吸・出血の調査)
- ・ 気道確保と回復体位 (意識不明者の呼吸管理・体位管理)
- ・ 心肺蘇生と除細動(CPR/心肺蘇生・AEDの使用)
- ・ 止血とショック管理(直接圧迫止血・止血点圧迫・保温)
- ・ 迅速な全身観察(重大な損傷を迅速に発見する)
- ・ 各部のけがと応急手当 (頭・首・脊髄・宗・腹のけが・熱傷・骨折)
- ・ 負傷者の扱い方(ヘルメットの取扱い・体位管理など)
- ・ 認定登録(LSO FIRST AIDER with CPR&AED 認定・・・2 年間有効)

■参加者数 総勢 90 名

当日の講習の内容

1月29日(土)・2月21日(月)・23日(水祝)の3日間、「筑波サーキットファーストエイド&レスキュー講習会」がサーキットホールを会場に開催。今年は新型コロナウイルス感染対策を徹底して行ったうえでの実施となりました。講師:伊東様、大島様にご指導をして戴き、レースオフィシャル・サーキットスタッフ総勢90名が参加しました。座学で基礎的な知識を学んだ後に、実践的な練習として、各グループに模擬訓練用人体を配備し心肺蘇生、AED(除細動、電気ショック)使用までの一連の流れを学びました。

その他ヘルメットを装着したままの傷病者に対して二次的損傷を予防しながらヘルメットを脱がす手技なども習得。 今回の講習を受講したことで、救急措置を必要とする場に直面した時、その場に居合わせた「私たち」が一次救命処置を行うことで救命のチャンスを高められるということを学びました。

救急措置が必要になる状況が起こらないことが一番ですがですが、いざという時にしっかりと対応できるよう知識と技術を 習得できとても有意義な時間となりました。

当日の様子【1月29日(土)】













当日の様子【2月21日(月)】













当日の様子【2月23日(水祝)】













